

# 第48回 縮小社会研究会



日時：2020年10月27日（火）、14：00-15：30

所：オンライン(zoom)

<https://us02web.zoom.us/j/85789459864> ミーティング ID: 857 8945 9864

COVID-19 で世界は分岐点に立たされています。外出制限で、働き方、消費、移動などが変化しました。在宅勤務、テレビ会議が可能となり、宴会や旅行の自粛などを行っています。これでやっていけるのもっとすすめるべきであるという考えと元に戻そうとする勢力がせめぎ合っています。今こそ、将来を視野にいたした社会像を描くべきです。

このたび、農業史と環境史をベースに戦争、技術、飢餓、ナチズム、給食など幅広く論じてきた藤原辰史さんの講演会を持ちます。

## 「分解の哲学」

藤原辰史（京都大学人文科学研究所 教員）

「人間界」と「自然界」で起っている問題を、同時に議論できないだろうか。たとえば、貧困問題と環境問題、戦争と農業問題などを、同じ概念で、人文科学と自然科学の境を超えて、議論できないだろうか。

私が考えたのは、「分解」という生態学の言葉です。生きものの死骸を、別の生きものの構成要素へと変えていくプロセスに携わる微生物たち。それは他方で、哲学や歴史学などさまざまな場面で、今深刻になりつつある諸問題を解きほぐす概念でもあります。拙著『分解の哲学——腐敗と発酵をめぐる思考』（青土社、二〇一九年）に沿いながら、過去に思想家たちや作家たちが、分解世界にどのような眼差しを向けてきたのか、そしてどのような分解世界を今後描いていけるのか、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。



私が考えたのは、「分解」という生態学の言葉です。生きものの死骸を、別の生きものの構成要素へと変えていくプロセスに携わる微生物たち。それは他方で、哲学や歴史学などさまざまな場面で、今深刻になりつつある諸問題を解きほぐす概念でもあります。拙著『分解の哲学——腐敗と発酵をめぐる思考』（青土社、二〇一九年）に沿いながら、過去に思想家たちや作家たちが、分解世界にどのような眼差しを向けてきたのか、そしてどのような分解世界を今後描いていけるのか、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

**参加登録：**会員の方は氏名、非会員の方は氏名と所属などを松久 ([h.matsuhisa@shukusho.org](mailto:h.matsuhisa@shukusho.org)) まで連絡願います。なお、定員は100名で先着順です。